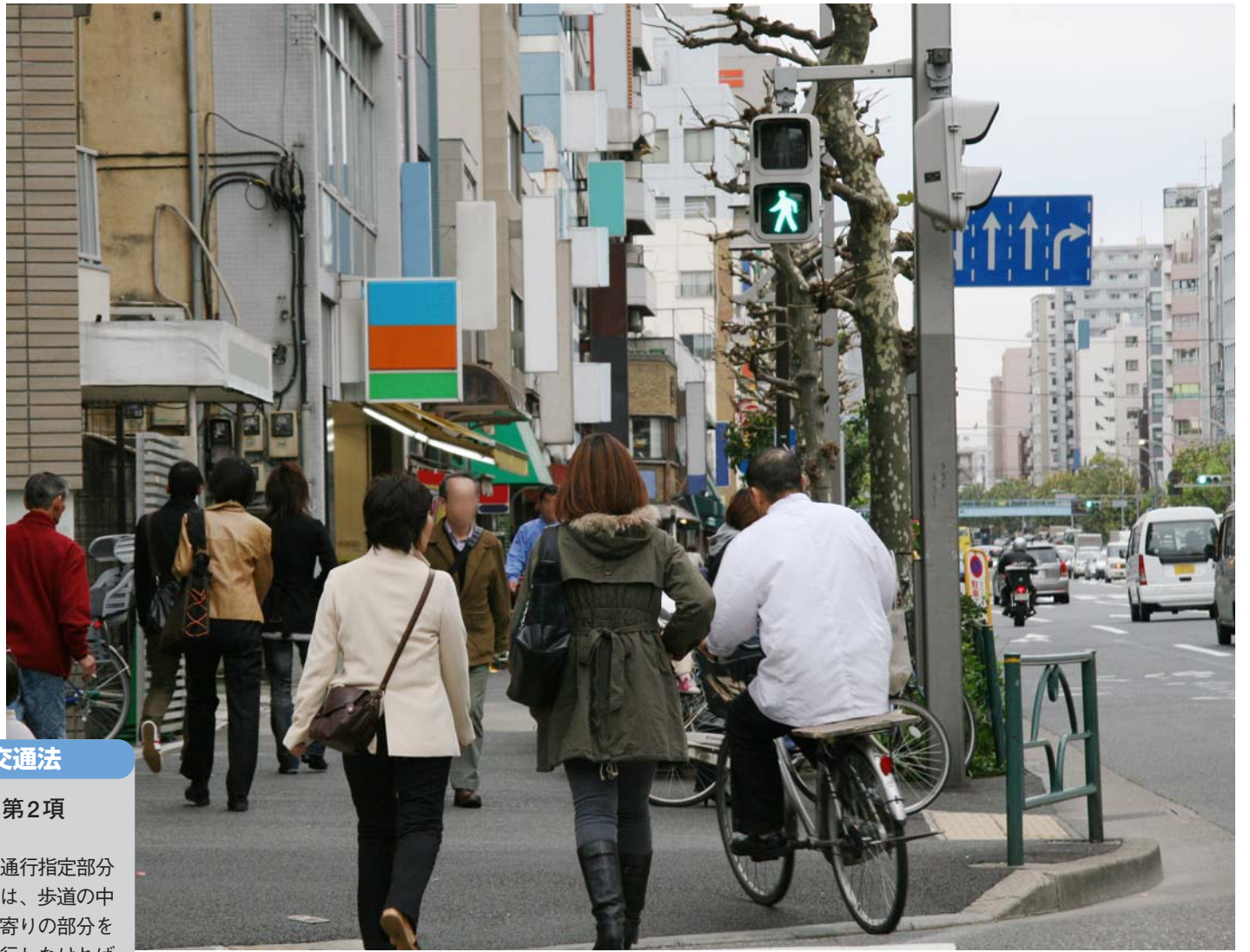


混合交通を観察する
DOCUMENT
series—226
Eye

19年には17万1018件で交通事故数は平成の約2割を占める。特に、近年は自転車同士や自転車と歩行者の交通事故が増加傾向にある。自転車と歩行者による交通事故は、平成9年が633件(うち死亡事故2件)であったのに対し、平成19年には2856件(うち死亡事故8件)と4倍以上に増加している。

今年6月の改正道路交通法の施行で、

WHY
歩道を走る自転車は、歩道の中央から車道寄りを通行しているか?



●観察場所/ 東京都台東区松が谷1丁目付近
●観察日/ 11月11日(火曜日)
●天候/ くもり
●観察時間/ 14:30~15:30
●観察者/ 4名

道路交通法

第63条の4第2項 (一部抜粋)

- ・普通自転車通行指定部分がない場合は、歩道の中央から車道寄りの部分を徐行して進行しなければならない。
- ・歩行者の通行を妨げることとなる場合は、一時停止しなければならない。

自転車の通行区分がより明確化された。

自転車は、原則として車道の左側端を通行する。ただし、道路標識や道路標示によつて歩道の通行が認められているとき、安全上やむを得ないとき、運転者が児童・幼児・70歳以上の場合は歩道通行が認められている(右記、道路通行の方法も規定されている(右記、道路通行法参照)。今回は、実際に自転車通行可の歩道を通行する自転車は、車道寄りを通行しているか観察した。

●歩道を走る自転車の通行位置を観察する
**歩道を通行した自転車322台中
車道寄りを通行したのは213台(66.1%)**

WATCHING

進行方向に対して左側寄りを通行する自転車利用者

観察場所は、東京都台東区の浅草通り。観察した歩道は、自転車通行可で道幅は広く、ほぼ直線で見通しが良い。普通自転車通行指定部分は設けられていなかった。

1時間の観察で歩道を通行した自転車は計322台。このうち中央から車道寄りを通行した自転車が213台(66.1%)、中央から車道と逆側寄り(建物寄り)を通行した自転車が109台(33.9%)だった。

自転車利用者の多くは単独で通行していた。歩道上では、車道と同じように進行方向の左側端に寄る傾向の自転車が多かった(左写真参照)。また、自転車同士がすれ違う場合は、お互いに進行方向左側に避ける例がほとんどだった。

中には、高齢男性の自転車利用者が歩道脇の商店を見ながら、建物寄りをフラフラと走る様子も観察された。また、携帯電話で通話したり画面を注視して蛇行運転している例も見られた。子どもを



建物寄り(左側端)を通行し、歩行者とすれ違う自転車



高齢者を追い越す自転車

自転車に乗せさせた女性同士が、2台で並進している例もあった。スピードを出す自転車はほとんど見られなかった。

歩行者が多く歩道が混雑している場合は、手前で徐行してから隙間を見つけてすり抜けるという例が多かった。混雑しているために追い越せず、一時停止し、タイミングを見計らってから歩行者を追い越す人も見られた。中には、徐行後に歩行者の背後からベルを鳴らす自転車利用者も観察された。

歩行者は、家族や友達と並んで歩いていたり、お店の前で立ち止まって商品を見ていたりする人もいて様々だった。

PROPOSE

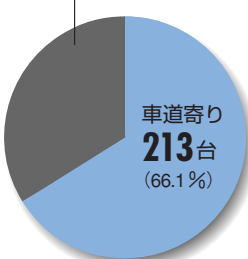
歩行者優先を意識して安全な自転車利用を

普通自転車通行指定部分がない場合は、自転車歩道を通行する際は、歩道の中央から車道寄りの部分を徐行して進行すると定められている。まず、これを自転車利用者に理解してもらうことが必要である。さらに、歩行者もこのルールを知っておけば、自転車利用者も歩行者の事故防止につながるのではないだろうか。

その上で、自転車利用者は、歩道上を走行する際はあくまでも『歩行者が優先』であることを意識し、歩行者の通行を妨げる場合には一時停止することが重要だ。

●歩道を走る自転車の通行位置

建物寄り 109台 (33.9%)



	車道寄り	建物寄り	合計
子ども	0	1	1
中学生・高校生	1	4	5
成人	176	87	263
高齢者	36	17	53
小計	213 (66.1%)	109 (33.9%)	322

※子ども(13歳未満)、中学生・高校生(13~18歳)、成人(19~64歳)、高齢者(65歳以上)の判断は観察者の見解による

今回の観察では、自転車と歩行者が接触するような危険な状況は見られなかった。しかし、歩行者の中には、商店の前で立ち止まっていたり、友人との話に夢中になって歩いている例も見られた。自転車利用者がよそ見をしたり蛇行運転をしていると歩行者と接触する危険性もある。自転車利用者は、運転に集中することが大切だ。



歩行者を避け建物側から追い越す自転車利用者

あなたの実践している交通安全は何ですか? みなさまの声を募集しています

いつも、SJ紙をご愛読くださりありがとうございます。SJ編集部では、「日頃、安全運転や交通安全に関して実践していることや気をつけていること」に関する読者のみなさまの声(情報・ご意見)を募集しています。下記メールアドレスまでお送りください。お寄せいただいた情報につきましては、今後の紙面づくりの参考とさせていただきます。

sj-mail@ast-creative.co.jp